



各 位

平成 16 年 10 月 28 日

会 社 名
コード番号
問合せ先東洋ゴム工業株式会社
5105
コーポレート戦略企画室長
取締役 小野寺 泰男
TEL (06) 6441-8803

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 3 月期中間（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）の業績予想について、平成 16 年 5 月 12 日に公表した業績予想を、下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期個別中間業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）
（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 16 年 5 月 12 日 発表）	95,000	1,100	1,500
今回修正予想（B）	103,000	4,900	3,400
増減額（B - A）	8,000	3,800	1,900
増減率	8.4%	345.5%	126.7%
前期（平成 16 年 3 月期中間）実績	97,366	3,376	2,456

2. 平成 17 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）
（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 16 年 5 月 12 日 発表）	124,000	1,100	100
今回修正予想（B）	128,000	4,700	2,100
増減額（B - A）	4,000	3,600	2,000
増減率	3.2%	327.3%	2,000.0%
前期（平成 16 年 3 月期中間）実績	120,050	2,396	864

3. 修正の理由

（個別中間業績予想の修正）

海外市場向けタイヤの販売が予想を大きく上回り、高付加価値商品の販売が増加したこと、為替が予想に比べ円安に推移したこと、更に、コスト合理化や経費削減などが増益要因となり、原材料価格の値上がりによる減益要因があったものの、売上高、経常利益並びに当期純利益が、前回発表時の予想を上回る見込みとなりました。

（連結中間業績予想の修正）

タイヤ事業では、北米市場で UHP・SUV 用タイヤなど高付加価値商品の販売が増加し、欧州市場でも堅調に販売を伸ばしたこと、コスト合理化・経費削減が図れたこと、為替が予想に比べ円安に推移したことなどが増益要因となり、原材料価格の値上がりによる減益要因があったものの、売上高、経常利益並びに当期純利益が、前回発表時の予想を上回る見込みとなりました。

4. ご参考

通期の業績予想につきましては、中間決算発表時（平成 16 年 11 月 10 日）に見直しを行う予定です。

以 上